

歐米幼兒教育視察記（二）

フレーベル館副社長
法學士、文學士

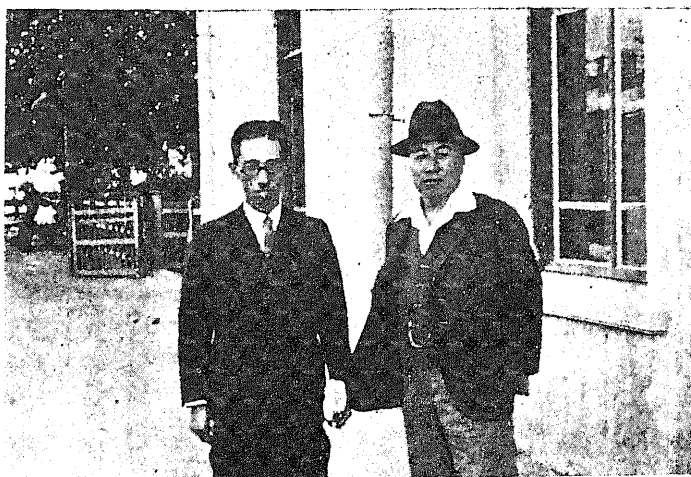
高 市 慶 雄

（本稿は本年七月二十六日、日本幼稚園協會講習會課外講演として、東京女高師講堂に於てなされた講演の概要であります）

私は文部省の依頼によりまして、昨夏英國オックスフォードに開催せられた第六回世界教育會議に出席、旁々滿一ヶ年に亙り歐米の幼兒教育情況を視察致し、最近歸朝した者で御座います。往路は同じく世界教育會議へ出席の帝大の大島教授、文部省の佐野督學官と同道、シベリヤ經由で參りました。途中滿洲の新京、ハルビン、蘇府モスコ、波府ワルソー、伯林、オランダのアムステルダム、倫敦に立寄り、各數泊しましたが、それらの地の教育關係者、在外公官、同窓諸君等の非常なる歡迎お世話を受けました事は感謝の至りであります。目的地オックスフォードに着いたのは開會の三日前、即ち八月七日で、直ちに宿舍として割當てられたハートフォード・カレッジに入つたのであります。祖國を出で、三旬、其間白樺の林と漠々たるツンドラの大草原の他殆んど眼を遮るものもないシベリヤの大平原を、八日七夜停止する所なく、ひたむきに西へ西へ走り續けた其の印象は、今度の世界旅行中何ものにも較ぶものなき深いものであります。また僅かな滞在期間中乍ら、蘇府モスコで見聞したロシヤの政治、社會、並びに教育の種々相は驚異に値するものが多かつたのであります。

世界教育會議に就いて

この世界教育會議、詳しく言へば列國教育會聯盟世界大會 World Conference of the World Federation of Education



(左)者筆と(右)表代席主島大てに驛ーリュチンマ境國滿露夏昨

Associations は、毎二年毎に世界の何れかの地點に開催せらるゝ各國教育會の聯合會で、討議の範圍は教育の一切の部門を包含する事になつて居ります。今回のオックスフォードの大會では、上は大學教育より幼兒教育に至る一切の部門、更に放送教育、映畫教育、成人教育、社會教育等十九の部門に分たれ、我々日本代表十名は、夫々手分けして會議に列席、私は其の幼兒教育部會に我國を代表して出席したのであります。

さてこのオックスフォードは、ロンドンより北の方、汽車で三時間位で達する大學町でありまして、伊太利のサレルノ、チェツコスロヴァキヤのブラーグ等と共に、歐洲最古の大學の所在地で、其の建物などは何れも古色蒼然、頗る落付いた感じのする町であります。またクラシックミ申しますか、アカデミックミ申しますか、私は獨逸のミュンスター市を除いては、かくの如き好まじき都市を他に見ないのであります。此所の大學教育は、我國の之れミは全然趣を異にし、寄宿舎を主體ミし、レクチュアは從ミし、所謂寺小屋式の個人々格教育を施して居ります。この寄宿舎こそ同時に教室であり、生活の場所であり、また人格の修養鍛鍊の場所でもあるのであります。私共は、暑中休暇で學生の歸つたすぐ跡に宿つたので、机の抽斗には學生のインキや



世界教育會議代表の一昨夏スコッフォード市長
招待園遊會 右端筆者、左端野佐監督學官

ペン、書棚には學生の書物、洋服箆笥には學生の洋服が其の儘入つて居りました。學生の寢臺に眠り、學生の食堂で食事をして、會期十日間を學生に立歸つた様な心持になつて、カレッジ・ライフを楽しみました。寄宿舎に申すに何か貧弱粗末な様にお感じかも知れませんが、事實は其の反對で、私共が是迄に宿りました如何なるホテルの部屋よりも堂々たるものであります。學生一人に三室宛あてがはれ、寢室、居間、應接室等完備してゐます。間く所によるに其の舍費、驚く勿れ月額八十磅、即ち邦貨凡そ壹千五百圓に相當する由であります。即ちこの大學は、英國の貴族の子弟を教育する所で、法、文學部を主體とし、史學の研究は就中力を入れて居ります。將來大英帝國の運命を雙肩に擔ふが如き大政治家を養成するのが主旨である相で、私も大政治家の卵になつた様な心持で、十日間の夢を過しました(哄笑)。序乍ら、英國に於きましては、幼稚園小學校時代から、貴族と庶民との教育機關はオックスフォードの大學に入學するのであります。貴族富豪の子

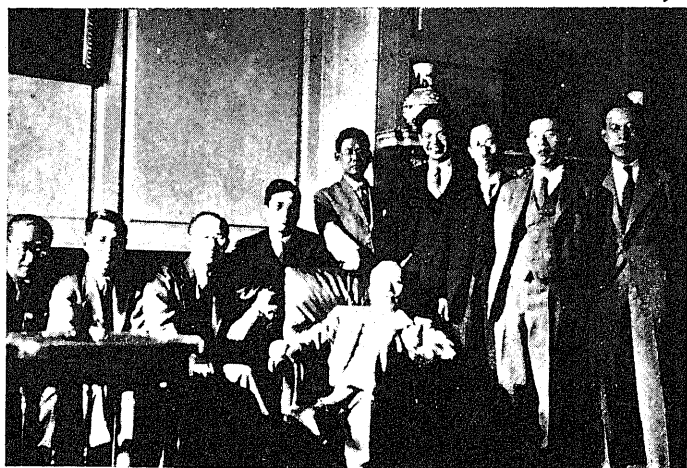
全然別個で、イートン、ハロー等の學校の卒業生が此のオックスフォードの大學に入學するのであります。貴族富豪の子弟といへば輕兆浮薄又は凡庸であるかといふも、英國に關する限り決してさうでなく、オックスフォードの大學生活の如

き、實に嚴格勤勉、且つ崇高なる學風が支配して居ります。總じて英國の貴族は、其の子供又は實によく教育する由でありまして、英國の貴族が少數であり乍ら、かくも永く其の勢力を維持し得る所以は、子弟の教育に熱心であるといふ一事に歸すのではないかを感じたのであります。

扱て今回の大會は、如上世界教育會議の他に、國際教員協會 International Federation of Teachers' Associations 及び國際中等教員協會 International Federation of Associations of Secondary Teachers といふ三つの大會を同時に開催した關係上、オックスフォードに會するもの約五千人、それは非常なる盛會であると同時にまた頗る混雜を呈したのであります。従つて宿泊の場所も容易に得られぬといふ有様でしたが、私共日本代表十名は、遠來の客を遇するといふ意味に於てありますから、特に壯麗な宿所を割宛てゝ呉れました。私共の宿つたハートフォード・カレッジの隣屋は有名なるモーダレン・カレッジで、畏多くも先年秩父の宮殿下が二ヶ年間オックスフォードに御遊學遊ばされました時の御宿舍で、私共も親しく殿下の御居室を拜觀して感慨を深くした次第であります。

幼兒教育部會の盛況

オックスフォード第六回世界教育會議の幼兒教育部會 Preschool Section は、オックスフォードのカーフアックス・アッセンブリー・ルームで七日間開催せられました。此の部會に會する者、約二百五十人、アメリカのミス・シン、英國のミス・オーウン兩女史が夫々議長、副議長となり、各國代表のレポート演説に始つたのであります。會議の用語は英語に一定されました。大島主席代表より、次回世界教育會議の東京招致の關係もあるから、成るべく日本の事をよく紹介して貰ひ度いといふ特別の御注文もあつたので、私は、「日本の幼兒教育の發達の現狀」The Present State of the Development of the Child's Education in Japan といふ題目で、我國の幼兒教育界の組織、人、設備、理想等に就いて、約四十分間



第六回世界教育會議日本代表全表昨日夏
日本會樂部に於て紀念影

講演をなし、質問に應答致しました。幸にして列國リポート中最大なる注意を喚起し、質問百出といふ有様で、乍不及誤解され勝ちな我國の幼兒教育の實際と眞價とを多少なりとも歐米人に紹介するを得た事をひそかに喜んで居る次第であります。

各國代表の演説が了つてから、特別講演に移り、伊太利モンテッソリー女史の「學令前兒童に就いて」[The Pre-school Child 及びロンドン大學スーザン・アイザック教授の「初五歳迄の兒童心理學に於ける最近の發達」Recent Advances in the First Five Years といふ題目の御講話があり、何れも頗る有益且つ示唆に富むお話し伺つたのであります。中にもモンテッソリー女史に親しく面接し、其の御意見を叩くを得ました事は私に取り洵に幸ひであつたのであります。何となれば、後に申述べます通り、後日私が伊太利ローマ市に同女史を訪問致しました時には、ある事情の爲めに女史は既にローマに居住せられず、半永久的に目下動亂の渦中に在るスペインのバルセローナへ移住された後であつたので、此

の機會を逸しては、遂に女史の聲咳に接し、其の思想を探る折を得られなかつたのであります。

次に、「變化しつつある世界の兒童に就いて」Children in a Changing World といふ題目で盛なる討論會が開かれ、了

つてから、委員會を開き、次の如き決議文を可決し、之を大會の當局に提示したのであります。「幼児期兒童の教育の絶大廣汎なる重要性に鑑み、學齡前兒童の教育は、各國教育當局の義務にして責任なる事を承認す」Having regard to the

great and far-reaching importance of education in the early days of childhood, the education of all young children of pre-school and kindergarten age should be the duty and responsibility of the Education Authority in every country.

以上を以て簡單ながら、幼児教育部會のお話を了りますが、會期七日間を通じて、主催地英國當局の吾々に對する歡待振は、之亦至れり盡せりでありまして、英國皇帝(昨秋崩御せられた先帝ジョージ五世陛下)は、私共を離宮ハンプトン・コートに御招待あらせられ、またオックスフォード市長、同大學々長、其他有力者のレセプション、ガーデン・パーティー等、殆んど寧日なしといふ有様、また最後の日には、オックスフォードから數十哩隔つたストラットフォードに案内せられました。こゝは英國民の誇りであり、また世界的文豪たるシェクスピアの遺跡のある所で、圖らずも作品をのみ通じて觀て居つた巨人の足跡をこ



・ントブンハ待招帝皇國英夏昨者表代國各議會育教界世
會遊園るけにトーコ

むらふを得た事は望外の幸でありました。

世界教育會議の東京招致

此の大會を東京に招致するこいふ計畫は相當以前からあつたのですが、滿洲事變其他に妨げられて實現を見なかつたのであります。次回、即ち一九三七年の會議地を東京にするこいふ事は、朝野を擧げて希望する所で、先づ當時の駐英松平大使より正式に文書を以て申込をなした上、我々代表に於ても夫々手分けをして列國委員を歴訪、猛運動を致しました結果、コッペンハーゲン以下四ヶ所程あつた、他の候補地を一蹴して、遂に東京招致に確定を見たのであります。これ一に皆々様教育者の絶大なる御後援の賜であるに深く感謝する次第であります。目下大島教授を事務總長として次期（來年夏）の會議の爲めに諸般の準備が進められて居る由に承ります。次回オリンピック大會も日本開催に決りました事御存知の如くで、かくの如き國際的大會合が續々として我國に行はるゝに至つた事は、未だ充分には理解されてない日本を正しく歐米人に紹介する意味に於ても洵に喜ばしい事と存じます。